

小学生の部 最優秀

大切なふる里

仙崎小学校 6年

大田由茉



「つかれた。でも楽しかった。」みずゞ七夕笹祭りがおわった後の、私の気持ちです。なんだか胸のおくでジーンと熱いものがこみ上げてくるのを感じました。

私達六年生はこの夏、七夕笹祭りに参加しました。この祭りは昔からある祭りでした。そして三年前に、復活しました。四年生のときから参加しています。今年で三回目。六年生として、今までとはちがった関わり方で参加しようという事で大人の人の実行委員会から参加をしました。その時感じた事は、一つの行事を計画し、実行していくにはいろいろと細かい事まで話し合っただけではいけない、かげの力が大切なんだな、という事です。私は実行委員として、みんなが気持ちよく参加でき、いい思い出になるように、お世話をしたいこうと決めました。ポス各グループが決まりました。

ター、お店、鯨唄、笹かざりの、四つのグループの中から、お店のグループの担当になりました。それと同時に、実行委員なので、お店グループのリーダーになりました。決まった時は、やる気ができてがんばろうと思いましたが、でも準備は大変で家でやってきたりしました。みんな一生懸命で手伝ってくれる人もできました。なかうれしい気持ちでいっぱいになりました。協力するということはこういう事なんだと思いました。私は六年生のみんなとのお店とは別に、金管クラブに入っているの、演そうもしました。金管クラブでは「ビリーブ。世界に一つだけの花。」を、演そうしました。放課後や昼休みを使って必死に練習しました。夏休み中も練習があり、大変でしたが、がんばりました。六年生のお店もスポ少や、じゅく、旅行などで協力し、計画を立てて、がんばりました。とっても大変でしたが先生に、「大変なときこそ大きく変わる。」と言われ、私はまさにその通りだと思いました。そして当日。私達の演そうとみんなのかけ声の中で、七夕笹祭りがはじまりました。みんな売るのが大変でしたが精一杯売っていました。みずゞ七夕笹祭りに参加することで私は大きく変わったな、と思いました。そして、いっしょにがんばったみんなも大きく変わったなと思います。

私はもう一つ長門市の行事に参加しました。それは「ふるさとまつり」です。そのふるさとまつりには、金管クラブで参加しました。三年間金管クラブに入っていて、みんなの前で演そうするのはこのお祭りです。最後になりました。みんな、一層練習に力が入りました。当日は、練習のいい思い出、思い出に残るとても良い、演そうができました。仙崎小学校の他に、青海島小学校と向陽小学校の人も参加していました。他の学校の人と話したりする機会があつて、良かったと思います。また、少しですが、他の学校の人の演そうを聞くことができました。これもふるさとまつりの良さだと思いました。

私の学校は、童謡詩人「金子みずゞさん」の母校です。一年生の時からみずゞさんの詩を勉強しています。読んだ感想を体で表現したり、文に表したり、絵に描いたりしました。それを仙小みずゞまつりで発表しています。その時にみずゞさんへの手紙も書いています。今年、私はみずゞさんに、小学校最後の年の思い出として、色々な市の行事に参加した事を書きました。楽しかった事や、がんばった事、ちよっぴりつらかった事も書いて伝えました。書いているうちに、色々な事を思い出しました。六年間の私の一つの財産です。大切にしていきたいと思えます。今年、詩を書きました。

「大切なもの」

私の大切な人は、
友達、家族。
なんにもかえられない、
大切な人。

私の大好きな場所は、
仙崎のまちなみ。
王子山から見るときれいで、
とってもあつたかいまち。

私の大好きな人は、
金子みずゞさん。

私達に元気をくれる、
すてきな詩を残した人。

私を大きく変えてくれたのは、
いろんなお祭。

つらい事も楽しい事に変えられた、
長門、仙崎の祭。

私の大切なものは、
みんな、このふる里にあります。

優良

- 坂田佳奈恵 (通小6年)
- 山田亜梨沙 (青海島小6年)
- 高下 真由 (深川小4年)
- 玉川 峻道 (大畑小6年)
- 吉富 友香 (向陽小5年)
- 高木 香代 (俵山小6年)

佳作

- 高野 莉江 (通小6年)
- 三輪 華代 (青海島小6年)
- 田中 里実 (仙崎小6年)
- 岩本 亜希 (深川小5年)
- 植中 遥 (深川小6年)
- 坂辻美沙希 (大畑小5年)
- 植木 直哉 (俵山小5年)

【学校・学年は平成15年度・敬称略】